

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和7年7月）

令和7年7月の白石踊に関わる高校生の活動について報告します。

1. 白石踊鑑賞・体験ツアー

令和7年7月19日（土）に白石島で「白石踊鑑賞・体験ツアー」が開催されました。多くの観光客、写真愛好家の皆さんが参加くださいました。

高校生たちは白石踊が始まる前に島内を案内するボランティアガイドや、実際に衣装を着けて浜辺で白石踊を披露する公演メンバーとして踊るという形で参加しています。また、このツアーではご参加の皆様に白石踊を習って一緒に踊るという体験の部分もありますので、輪の中に高校生たちが入り、皆様に踊りを見よう見まねで習っていただきました。

参加した高校生の感想を紹介します。

(1) 「白石島ガイド体験で感じた魅力と出会い」

7月19日の白石踊鑑賞体験ツアーで笠岡市白石島の観光ガイドを行いました。はと岩や仏舍利塔、開龍寺、旧小学校など島の名所を一つずつ巡り、訪れた観光客の方々に説明しました。

観光客の方が説明に納得してくれたり驚いてくれたりする姿を見ると達成感があり、やり甲斐を感じました。特にフランスから旅行で来た家族との交流が印象的で、日頃学んでいる英語で話し、3人の幼い子どもたちと踊りを教えて一緒に楽しみました。最後に「ありがとう、良い思い出になった」と英語で感謝されたとき、役に立てた喜びを強く感じました。その後もSNSを通してやり取りが続き、つながりの広がりを実感しました。

今回の体験を通して、白石島の魅力をさらに知り、もっと多くの人に伝えたいと思うようになりました。特に美しい浜辺での白石踊は、ぜひ多くの人に見てもらい感動を共有したいです。

今後もこの経験を活かし、地域の魅力発信に取り組みたいです。（文章：岡野日向子）



(2) 「踊り手としての参加」

私はこの度、白石踊鑑賞体験ツアーで白石踊を披露する踊り手として参加させていただきました。これはとても貴重な体験でした。

思えば、私が白石踊と出会ったのはまだ小学校2年生のときでした。父の仕事の関係で参加した白石踊の出前講座で、こんなに伝統的な踊りが身近に存在したのだと衝撃を受けたのをよく覚

えています。源平合戦の時代に魅了されていただけた運命のようなものを感じました。

それから早や10数年。高校3年生のこの時期に今まで培ってきた踊りを華やかな着物姿で披露できたことがとても嬉しいです。洋服と着物だと所作が全くの別物で、洋服だと意識しないようなことにも気を配って踊らなければならず、少し難しかったです。しかし、踊り終わったあとに周りの方から「上手だったよ」と声をかけていただけてほっとしました。

白石島にルーツがないにもかかわらず、島の皆さんもとても温かく迎え入れてくださいました。着付けの際に「受け継いでいってね」と声をかけていただけてとても嬉しかったです。

また機会があればぜひとも着たいな、と思えるとても楽しい体験でした。白石踊と出会わせてくれた縁を大切に、これからも白石踊の普及に努めていきたいです。（文章：清水愛莉）



2. 高校生ボランティア・アワード2025 出場の準備

2025年8月23日～24日に東京で開催される「高校生ボランティア・アワード2025」にてブース発表します。

女子二人は娘踊りの衣装を着て来場者に白石踊と私たちの継承活動をお伝えしようと思います。そこで、白石踊会笠岡支部の女性から着付けを習いました。

大会当日には全国の高校生やご来場の方々とお会いできることを楽しみにしています。



以上